



明日からいよいよ中体連総合大会 ～メールで結果を早めに送信～

いよいよ明日6月8日(火)から3日間、中体連総合大会が実施されます。これまで、練習してきた成果を出せるよう、各部が意気込んでいます。

さて、今回は無観客となり、保護者の皆様の観戦ができませんので、こまめにメールで結果をお知らせします。保護者の皆様は勤務中の方が多いと思いますが、結果を気にしていらっしゃる方も多いと推察します。どうぞ、よろしく願いいたします。

【野球部】

8日 泉崎さつき球場第2試合 対 石川中
(勝てば、9日、白河ブルースタジアム第1試合)

【ソフトテニス部】

8日 しらさかの森スポーツ公園 団体 対 石川中
(勝てば、浅川中と矢祭中の勝者と2回戦で対戦)

8日、9日に、個人戦

【バレーボール部】

8日 表郷中学校 西郷二中と中島中とのブロック予選
(1位になれば、9日、準決勝ブロックへ。)

【バスケットボール部】

8日 泉崎村農業者トレーニングセンター第2試合
対 白河南中
(勝てば、第4試合 対 白河中央中)

【剣道男子】

8日 団体 西郷第二中学校講堂第2試合
対 白河二中(勝てば、東中と白河中央中の勝者と
対戦。) 個人戦は午後

【剣道女子】

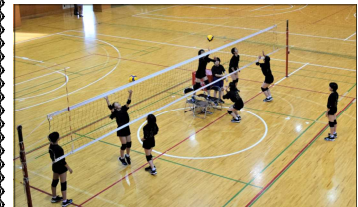
9日 団体 西郷第二中学校講堂第2試合
対 古殿中(勝てば準決勝へ) 個人戦は午後

【卓球男子】

8日 白河中央体育館 団体 泉崎中と五箇中との予選
ブロック(1位は決勝トーナメントへ、2位は
決勝トーナメント進出リーグへ) 個人戦午後

【卓球女子】

9日 白河中央体育館 団体 玉川中と浅川中との
予選ブロック(1位は決勝トーナメントへ、2位
は決勝トーナメント進出リーグへ) 個人戦は午後



↑ 大会前の各部の練習

文化部の取組が新聞に掲載！

文化部の活動が、福島民報新聞に取り上げられ、6月3日の朝刊に掲載されました。

市地域おこし協力隊の飯塚俊輔さんが講師として来られ、パソコンでのプログラミングについて教えていただきました。部長の鈴木佑絃さん（3年）は、「自分でプログラムを組み、思い通りの動きをすると達成感があって楽しいです。」とコメントしていました。

現行の学習指導要領から、プログラミング教育が入ってきていますし、まもなく一人一台タブレットを使った授業も開始されます。今後、PC、タブレット、電子黒板は授業の定番となっていきます。今回の文化部の取組は、時代を先取りした良い取組として紹介されました。



道徳の授業

新学習指導要領(学校で教えなければならない内容が書かれている法令)で、「道徳」が「特別の教科 道徳」となり、教科化になり、毎週、必ず道徳の授業を実施しなければなりません。道徳に使う教材は、教科書が中心です。今までは、道徳に使った本は「副読本」と呼ばれ、それぞれが購入したのですが、今は教科化となり、教科書は無償で給与されます。道徳の授業では、結論はなく、それぞれがどのように考えていったかという過程が大切です。「考え、議論する道徳」が、新学習指導要領のテーマです。

本校では、金曜日の4校時、全校一斉の道徳の授業が行われています。各学年で工夫し、様々な題材で、考えたり議論したりしています。今回は、一年生の道徳の授業の内容をお伝えします。

「ふれあい直売所」

愛媛で無人のふれあい直売所を営む「私」。お盆に帰郷した妹に「無人直売所でもうけにならないし、不正をする人もいるので経営が成り立たなくなる。」と指摘される。妹の言葉が心のどこかにひっかかっていた「私」はだが、笑顔で直売所を利用している親子の姿や会話から、人々のつながりを思い起こし、直売所を続けていこうと決心する

カメラで撮影された親子を見た「私」は、実際に出会って会話をしたわけではない「親子」と、互いに支え合い、つながっていると云えます。人間は、関係の浅い深い、長い短いに関わらず、誰もがつながりを大切に生きているということを気付かされる資料です。

子どもたちは、様々な考えを出し合いながら、授業を進めていました。